

超レア！新茶をナマで。「生茶葉」のネット販売開始 ～八十八夜には、お茶を「食べて」長生きを。顧客のアイデアをヒントに～

【概要】

京都・和束（わづか）町の農業ソーシャルベンチャー【京都おぶぶ茶苑】（代表：喜多 章浩 <http://obubu.com/> 0774-78-2911）は、4月13日、新茶の「生葉」の予約販売を開始した。摘みたての一番茶の茶葉は柔らかく、てんぷらやお吸い物などにして食べることができる。おぶぶ茶苑が年3回開催する茶摘体験時に茶葉料理を味わった参加者から「ぜひ販売してほしい」という声があり、それに応えた形で新サービスとして開始した。八十八夜に新茶を飲むと長生きするという言い伝えもあるが、より一層生命力と滋養に満ちた旬のお茶の葉そのものを味わい、楽しみながら元気になってもらいたい。

■おぶぶ茶苑「生茶葉販売」の詳細

予約開始日：4月13日

発送と到着：5月1日収穫・発送。八十八夜（5月2日）お届け ※地域により異なる

内容量：25g以上（茶葉約20～40枚）

価格：500円（税込）

予約方法：おぶぶ茶苑ホームページか、電話・FAXにて。

<参考>

生茶葉の主な栄養素：

ビタミンA、C、E、B群、ミネラル、βカロチン、食物繊維、カテキン、カフェイン、フッ素、亜鉛、アミノ酸等

生茶葉のネット販売事例：

おぶぶ茶苑が調べた範囲では前例なし



生命力あふれる春の茶葉は栄養面も優れる

■関連WEBサイト

▼ 「めずらしい新茶の生茶葉予約」

<http://www.obubu.com/SHOP/na001.html>

■お問い合わせ先

【京都おぶぶ茶苑】 <http://obubu.com/> 担当：松本 靖治

電話：0774-78-2911 携帯：090-6129-6184

mail：obubu@obubu.com FAX：0774-78-2215

住所：619-1213 京都府相楽郡和束町南大生水4-4

（JR加茂駅よりバスまたはタクシー15分）※事務所・茶畑にて取材可能です
事業内容：茶の生産と販売（小売、卸）